




織田信長・豊臣秀吉による統一事業 p.106,107 織田・豊臣はどのように全国統一を進めたか？

1. 織田信長について、表の①～④にあてはまる語を書き入れてみよう！

年代	できごと	説明
1560	(① 桶狭間) の戦い ⇒ 織田信長は駿河（静岡）の大名今川義元を倒しました。信長軍の兵の数は明らかに義元より少数でしたが、信長は「敵が攻勢に出れば引け、後退すれば追撃せよ」と命じ運よく勝利しました。	織田信長は尾張（愛知）の小さな大名でした。父親の葬儀にラフな格好で参加し、仏前に進み出てものを投げつけたことから、少年時代に周囲から「うつけ」や「たわけ」と呼ばれました。 
1571	(② 比叡山延暦寺) の焼き打ち ⇒ 信長は自分に従わない仏教勢力を武力で従わせました。	この焼き討ちによって、多くの僧が亡くなりました。信長は、仏教勢力には厳しい態度をとりましたが、その分、キリスト教の宣教師は優遇しました。
1573	(③ 室町 幕府) の滅亡	将軍よりも権力が増大した信長に対して、15代将軍の足利義昭が挙兵。それを信長が倒しました。
1575	(④ 長篠) の戦い ⇒ 信長が甲斐（山梨）の武田勝頼（信玄の子）を倒しました。信長は鉄砲を有効に使い、武田勝頼は強力な騎馬隊による攻撃を行いました。ヨーロッパ人のもたらした鉄砲が早くも戦いに導入されたわけです。	この戦いで信長は、鉄砲だけでなく木で組んだ柵や堀を利用して戦いを有利に進めたことがわかります。 

2. 豊臣秀吉について、表の⑤～⑦にあてはまる語を書き入れてみよう！

1582	(⑤ 本能寺) の変 ⇒ 信長が家臣の明智光秀によって自害させられました。光秀を倒したのは、信長の家臣であった豊臣秀吉でした。	豊臣秀吉は、農民の父と母をもちます。運よく信長の家臣になった秀吉は、この変の後、光秀を倒し知名度が上がり、発言力をもちました。 
1585	秀吉が関白に任命される→翌年、太政大臣に	武士として初めての太政大臣は平清盛。
1587	(⑥ バテレン 追放令) ⇒ 秀吉は、宣教師（バテレン）の国外退去や、九州の大名に教会の破壊を命じました。イエズス会の日本国内での活動は大きく制限されましたが、貿易は引き続き積極的に認められたため、追放令は徹底されませんでした。	織田信長は、仏教勢力を嫌いキリスト教は優遇しました。これに対して秀吉は、日本は「神国」として、キリスト教を嫌いました。日本国内で増加していくキリスト教徒に恐怖したのかもしれませんが、九州のキリシタン大名がスペインやポルトガルの宣教師と手を結んで力を増してきたことに対して不満だったのかもしれません。

★室町幕府が滅亡した後の、織田信長と豊臣秀吉が活躍した時代を(⑦ **安土・桃山** 時代)といいます。時代名の由来は、「安土」は信長の安土城（滋賀）、「桃山」は秀吉の伏見城（京都）。桃山という場所にあったです。